

報道関係者各位

2020 年 10 月 9 日

一般社団法人 さがらウィメンズヘルスケアグループ

病理 AI 診断装置ショールームとポストコロナ時代の新デザインオフィスが誕生 さがらウィメンズヘルスケアグループ アジア拠点を鹿児島市に開設

一般社団法人 さがらウィメンズヘルスケアグループ（所在地：鹿児島市、代表：相良吉昭）は、2020 年 10 月 9 日、アジアの拠点となる新オフィスを鹿児島市に開設いたしました。

当オフィスは、^{うんたい}耘泰グループ（所在地：中国・大連市、CEO：^{おうほうか}王豊戈）とさがらウィメンズヘルスケアグループの共同出資により設立された株式会社相良耘泰メディカルサービスのオフィスと、日中共同開発の病理 AI 診断装置のショールームを兼ねています。



心身の健康に配慮した新しいデザイン様式のオフィスです

一般社団法人 さがらウィメンズヘルスケアグループ 代表 相良 吉昭 のコメント

当グループは、経済産業省の平成 31 年度国際ヘルスケア拠点構築促進事業に採択され、中国・大連市において相良^{うんたい}耘泰大連医院を建設し、女性医療および検診センター、遠隔医療にかかわる事業展開を目指しています。



相良耘泰大連医院 外観

このたびアジア展開の第一歩となる

鹿児島オフィスを開設し、乳がんの早期発見・

早期治療の促進を目的とした日中共同開発の病理 AI 診断装置もここに展示しております。

このオフィスが女性医療のロールモデルを世界に発信する拠点となることを願っております。

中国・大連市 耘泰グループ CEO おうほうか 王豊戈 氏のコメント

相良耘泰メディカルサービス設立の目的は、日本で優れた実績のある相良式医療サービスをアジアで展開することであり、現地の医療レベル向上に寄与し、多くの患者様や、その家族に貢献できるものと確信しております。

アジアでの第一歩が日本との所縁も深い中国・大連の地であることは、我々も大変光栄に感じており、現地政府も非常に期待しております。大連進出を必ず成功させ、他エリアでも相良式医療が広がり、将来的にアジアに生きる多くの女性の健康の手助けになれば幸いです。

相良耘泰メディカルサービスは、中日の合弁会社であり、お互いの信頼関係を礎に成り立つものであります。JETRO(日本貿易振興機構)より、鹿児島では初となる海外からの投資プロジェクトとして認定されたと聞いており、鹿児島の経済にも貢献出来れば、我々も大変嬉しく思います。今後、日本と中国の経済と友好の懸け橋の一端を担うべく尽力する次第です。

ショールーム展示装置「WSI 骨髓細胞病理システム」について

血液学の臨床診断において欠かせない基礎検査である、骨髓細胞形態の顕微鏡検査。現在、国内外問わず、検査医が肉眼で顕微鏡を介して標本を観察し、スライド上の細胞を定性的かつ定量的に検査しています。生産性は主に人的リソースに依存し、日本国内においては多くとも1日2-3症例/病理医の検査速度が一般的です。

本システムは、AI（人工知能）を活用し、10～15分で骨髓細胞形態を分析します。診断の標準化や確立されたワークフローにより、時間あたり検査可能数の飛躍的向上に貢献するものです。

株式会社ナインズ 代表取締役 筒井 敏郎 氏 オフィスデザインに対するコメント

緑豊かな公園を眼下にのぞむ絶好のロケーションを活かして、木目を基調とした心地よいオフィスづくりを目指しました。

曲線のパーテーションで病理AI診断装置のショールームとオフィスを緩やかに区切ることで、オープンな空間を生み出し、廊下に向いた壁をガラスにすることで奥まで自然光を入れ、明るい日差しを感じられるようにしています。



デスクの配置はソーシャルディスタンスを担保しながら、コミュニケーションが円滑にとれるよう各個人の占有空間を区切ったパーソナル型レイアウト。

会議室は中央テーブルに可動式アクリルパーテーションを設置し、感染リスクの軽減に配慮しました。

最新の調光・調色機能を搭載した照明は、時間帯により自動的に光の色が変化することで、自然光に近い光環境を再現し、体内リズムを整える効果が期待できます。



先進の医療モデルを発信する場にふさわしく、心身の健康に配慮した新しいオフィス様式を提案しました。「空間が主役ではなく、そこに集う人がいかに心地よくなるか」。さまざまな視点から計画したこのオフィスに笑顔と活気があふれることを願っています。

■ 一般社団法人 さがらウィメンズヘルスケアグループ について

一般社団法人さがらウィメンズヘルスケアグループは、医療機関における業務連携を推進するため、2016年に設立されました。

豊富な実績を持つ専門医による遠隔診断、グループ全体の症例数を生かした共同研究・臨床試験を行うことで、各地域における医療の質向上に寄与しています。また、医薬品・医療材料・消耗品等の共同購入により、連携医療機関の仕入コストの削減を実現するとともに、経営ノウハウを提供することで、連携医療機関の経営の安定化にも貢献しています。

グループ全体の乳がん手術症例数は1500件(国内5法人・2019年初発乳がん症例数)以上と、国内有数の実績を誇ります。

■ 株式会社 相良耘泰メディカルサービス について

中国・大連市に開院予定の「相良耘泰大連医院」の運営会社として、耘泰グループ(所在地：中国・大連市、CEO：王豊戈^{おうほうか})とさがらウィメンズヘルスケアグループの共同出資により設立されました。

相良耘泰大連医院は、国内初、唯一の特定領域がん診療連携拠点病院である社会医療法人博愛会 相良病院(所在地：鹿児島市、理事長：相良吉昭)の医療体制をモデルに、日本式の女性医療および検診センターを備え、乳がんを中心とした女性医療の診療を行います。

一般社団法人 さがらウィメンズヘルスケアグループ 病理AI診断装置ショールーム

株式会社 相良耘泰メディカルサービス

住所：鹿児島市樋之口町3-28 4F (旧相良病院附属プレストセンター)

WEBサイト URL：<http://www.swhg.jp>

【グループに関するお問い合わせ】

社会医療法人博愛会 相良病院 企画広報課

TEL：099-224-1811